

大槌の子

大槌町立大槌学園 園報No. 19 令和5年1月30日発行



大槌の教育～児童生徒実践発表会～

1月23日（月）、町内の教職員対象の『大槌の教育推進協議会』が開催されました。児童生徒の実践発表の部では、大槌学園、吉里吉里学園、大槌高校が発表を行いました。

大槌学園からは8年生の阿部咲恵理さん、高清水琳世さん、小國瑞揮さんの3名が実践発表を行いました。3名は、ふるさと科で取り組んだ「職業調べ」について、講師をお招きし様々な職業について学んだこと、自分自身の性格を見つめ直したことなど、学習を通して得た成果をスライドを使いながら発表しました。堂々とした立派な発表でした。

今回の協議会には、島根大学教職大学院准教授の中村怜詞様にもご出席いただき、ご講演をいただきました。つい先日、共通テストが行われましたが、大学入試改革のもと、今求められている学力についてグループワークを取り入れながらご講義いただきました。今後の授業改善や学力向上に活かして参りたいと思います。

コロナ禍になってからは参集型の研修会は実施できずにいましたが、今回は生徒達の生の発表や中村先生のご講演を間近でお聞きすることができ、大変有意義な時間となりました。また、地域の皆様にもご参加いただき、大槌町の教育にご理解を深めていただくよい機会となりました。



「大槌町の子どもたちを支える会」様 ありがとうございます！ 押し花絵 寄贈



作品名「押し花絵
作家 多賀咲子さん（大槌町の子どもたちを支える会）
「大槌町の子どもたちを支える会」の活動の様子を写真と押し花で表現しました。

千葉県市原市のボランティア団体「大槌町の子どもたちを支える会」様より、押し花絵を寄贈していただきました。代表の志村淳子さんは大槌町出身で、震災後、市原市の友人や有志により支える会を発足させました。会員の皆様からの寄付や資源回収の収益を義援金として、町の教育委員会や社会福祉協議会に届けてくださいました。義援金は、サッカーゴールやホワイトボードなどの備品購入資金の一部として有効活用されています。支える会が発足して10年の節目を迎え、今回、支える会の解散にあたり、支える会の多賀咲子様より学園へ押し花絵が寄贈されました。これまでのご支援に心から感謝申し上げます。

支える会の活動がきっかけとなり、両市町の学校同士の交流が生まれました。19年秋、市原市が風水害に襲われたとき、大槌学園が市原市に贈った募金が市原市立加茂学園へ届けられました。その時から両校の交流が続いています。今後も両校の交流が深まることを期待しています。

支える会の活動がきっかけとなり、両市町の学校同士の交流が生まれました。19年秋、市原市が風水害に襲われたとき、大槌学園が市原市に贈った募金が市原市立加茂学園へ届けられました。その時から両校の交流が続いています。今後も両校の交流が深まることを期待しています。



加茂学園の掲示板で紹介されてる大槌学園

食料支援PROJECTへ お礼の手紙が届きました！

スクールソーシャルワーカーの南さんが窓口となり、町の児童民生員の皆様のご協力を得ながら、コロナウイルスを発症し、買い物にも行けず困っている家庭へ食糧支援を届ける取組みを行っています。先日、可愛らしい絵が添えられたお礼の手紙が教育委員会へ届きました。南さんも民生委員の方々も、とても喜んでいました。

なお、食糧支援については、コロナ感染が判明した家庭へ毎週水曜日に、メールでお知らせしています。希望する場合は、学校アプリでご連絡ください。

12・1月の金メダルノート

2-1 佐々木 叶依	2-2 田代 美海
3-1 小國 咲絵子	3-2 植田 大介
4-1 東梅 美優	4-2 森下 唯乃
4-3 川崎 花凜	
5-1 三浦 鈴	5-2 小石 美和
6-1 巖岩 らん	6-2 小林 流夏
6-3 小林 美海	



表彰されたみなさん

7・8年生から9年生へ 日めくりカレンダープレゼント



7・8年生の学年執行部が中心となり、9年生へ感謝を伝えるカレンダーを作成し9年1組、2組それぞれの学級へ贈りました。7・8年生の生徒一人一人が1枚ずつ感謝の言葉を添えたカレンダーです。受検、卒業式と、大きな節目を迎える9年生にとって、心強い後輩からのエールに、力をもらったことでしょう。

**頑張れ9年生！
君たちを全力で応援します！**

2月の主な予定

- 3日（金）委員会・児童朝会
8年生：薬物乱用教室
- 7日（火）生徒朝会 6・7年集会
- 9日（木）授業参観
- 10日（金）漢字検定（後期）縦割班長会議
- 14日（火）新入生1日入学
前期4時間授業（給食なし）
- 17日（金）期末テスト（7～9年）
6年生に感謝の気持ちを贈る会
- 21日（火）ホップ・ステップ・ジャンプ集会
- 27日（月）4年生：生と性の学習

地域の皆様ありがとうございます！

先週は、日本列島が最強寒波に見舞われ、大槌町も日中も氷点下という凍える数日間でした。車道も歩道も凍り、児童生徒の登下校が心配でしたが、保安員さんが雪かきをしてくださいました。また、凍った学園坂に朝早くから「株式会社 山千」様が砂をまいてくださいました。地域の皆様のおかげで、子ども達が安全に登下校できています。ありがとうございます。

